

吾妻山

○ **火山活動評価：静穏な状況（レベル１）**

火山性地震は昨年(2006年)11月以降減少したものの依然としてやや多い状態が続いています。しかし、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しました。現在の火山活動度レベルは1です。平成17年2月1日の導入以降、レベル1が継続しています。

[illegible]

○ 概況

・噴煙など表面現象の状況（図2）

遠望観測（監視カメラ：大穴火口の東北東約 14km）では、大穴火口（一切経山南側山腹）の噴気の高さは 30m 以下で低調な状況が続いています。

・地震や微動の発生状況（図3）

火山性地震の日回数は昨年（2006 年）11 月以降減少していますが、2 月の月回数は 21 回（1 月 33 回）とやや多い状態が続いています。これらの地震の震源は、前回（2004 年）と同じ一切経山南東側の浅いところで発生していると推定されます。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図4～5）

山体周辺で行っている GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

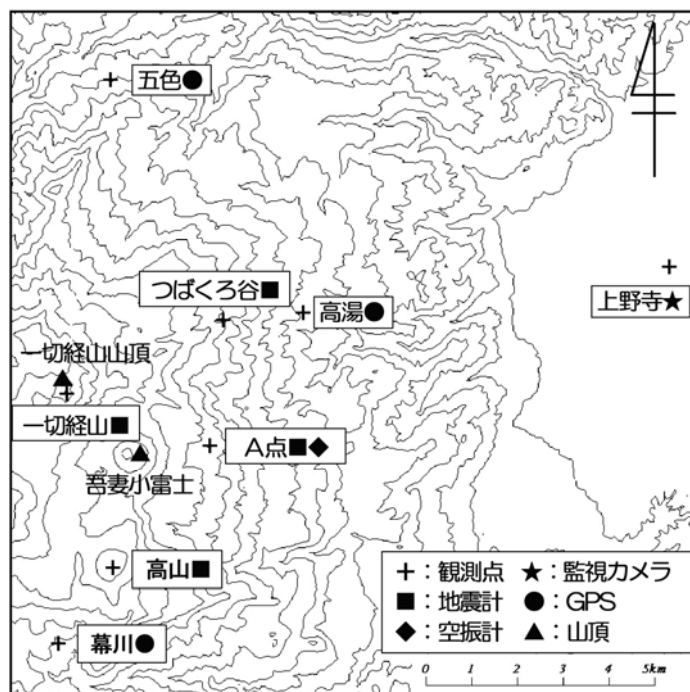


图1 吾妻山 観測点配置図

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ (標高)」を使用しています。(承認番号 平 17 総使、第 503 号)

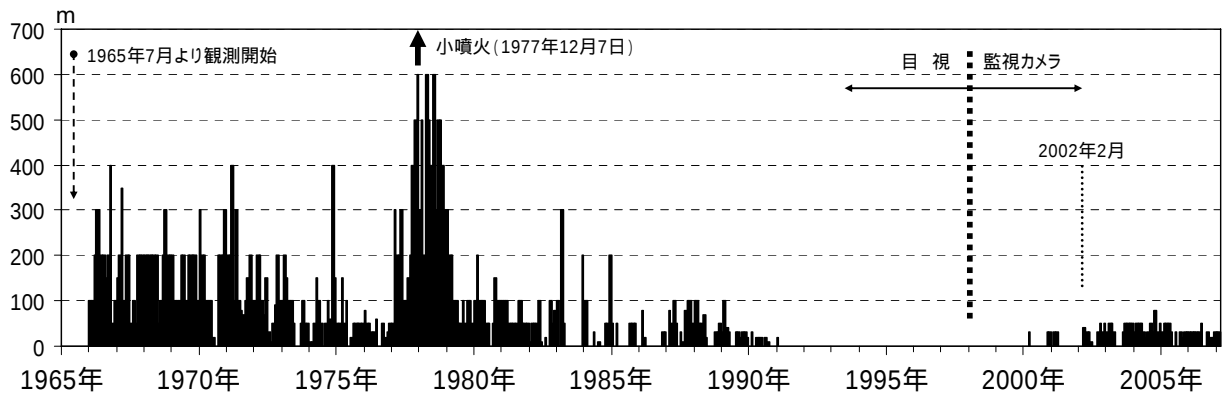


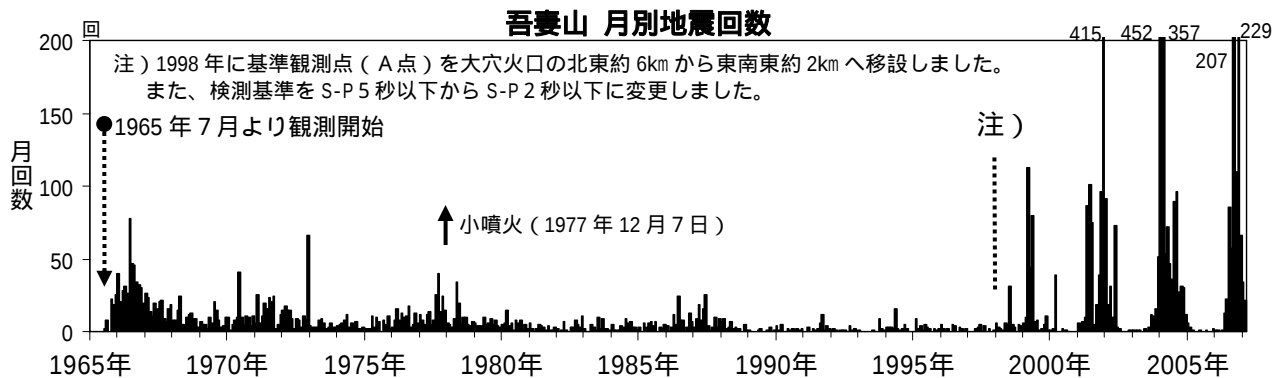
図2 吾妻山 月別最大噴気(噴煙)高(1965年7月～2007年2月)

1998年以前は福島地方気象台（大穴火口の東北東約20km）からの目視観測です。

1998年から監視カメラ（大穴火口の東北東約14km）による観測です。

2002年2月以前は定時(09時, 15時)及び随時観測による高さです。

2002年2月以後は全ての時間を収録データから観測した高さです。



注) 1998年に基準観測点（A点）を大穴火口の北東約6kmから東南東約2kmへ移設しました。
また、検出基準をS-P5秒以下からS-P2秒以下に変更しました。

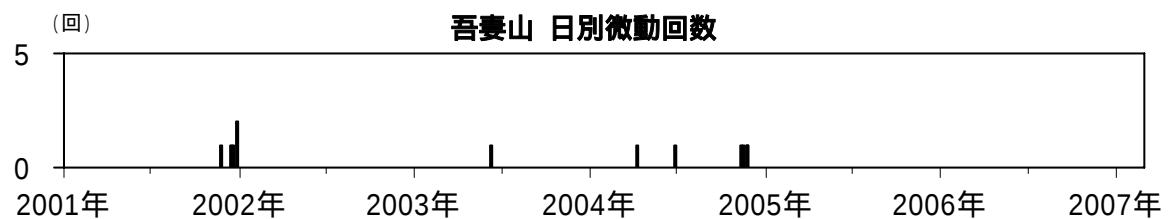
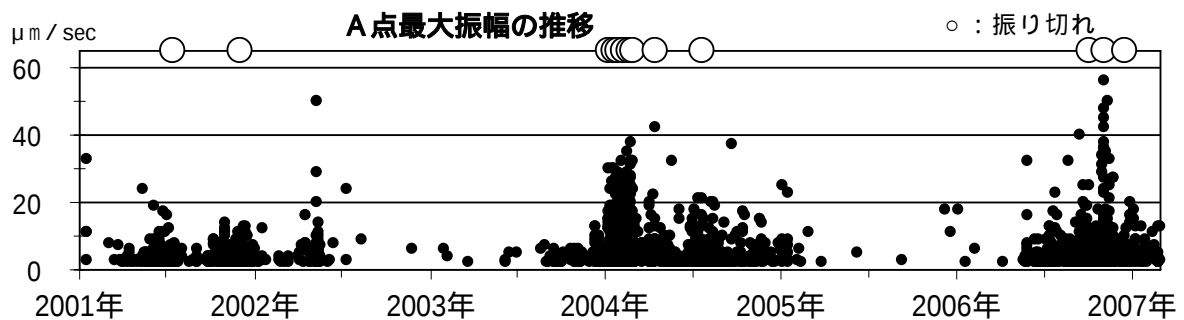
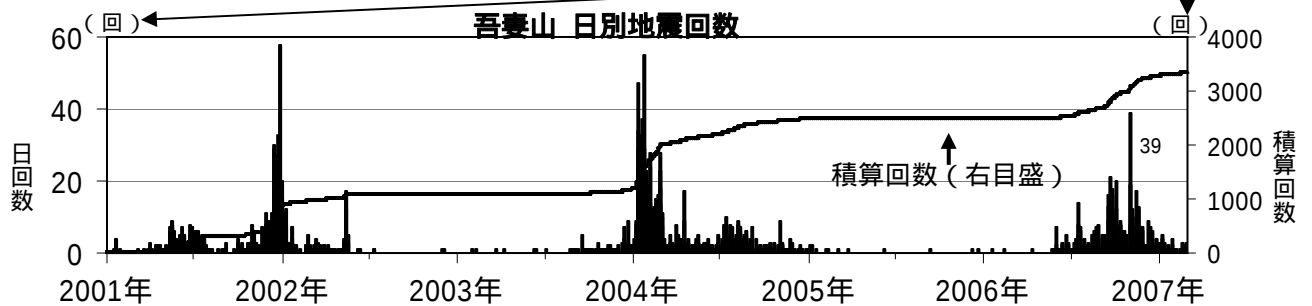


図3 吾妻山の地震回数および微動回数

月別地震回数（1965年7月～2007年2月）

日別地震回数・A点最大振幅の推移・日別微動回数（2001年1月～2007年2月）

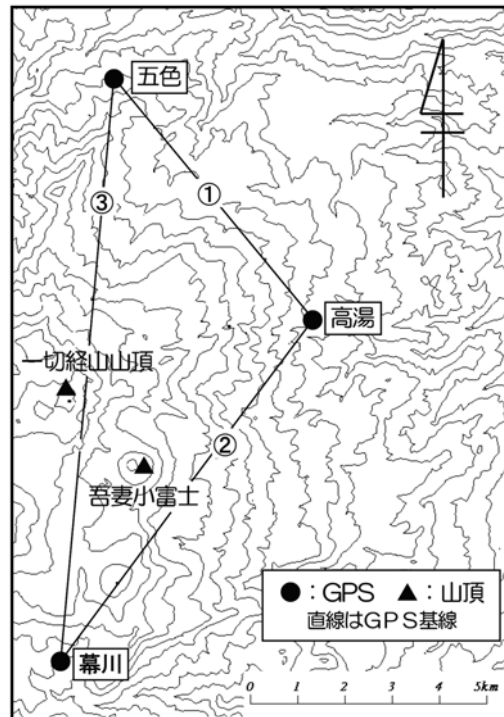


図4 吾妻山 GPS 観測点配置図

GPS 基線 ~ は図5の ~ に対応しています。

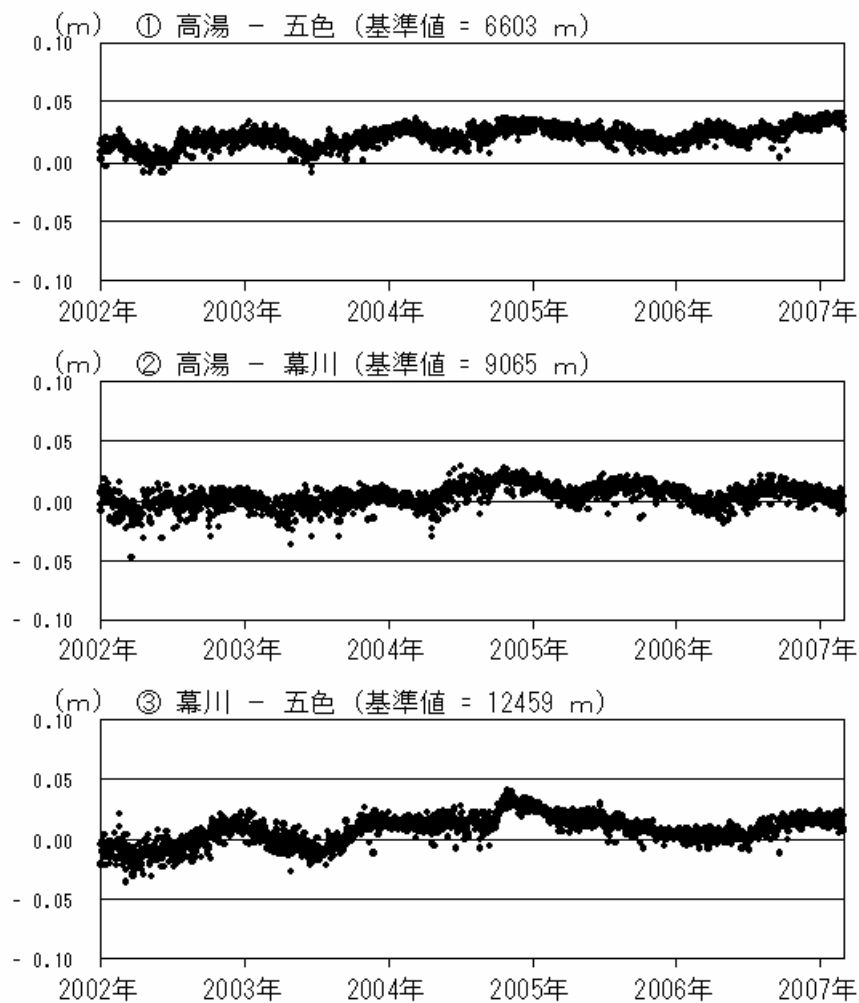


図5 吾妻山 GPS 基線長変化図 (2002 年 1 月 ~ 2007 年 2 月)

~ は図4の GPS 基線 ~ に対応しています。